【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2003-229125(P2003-229125A)
【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)
【出願番号】特願2002-24171(P2002-24171)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０１Ｍ　4/58
　Ｈ０１Ｍ　10/40
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｍ　4/58
　Ｈ０１Ｍ　10/40　　Ａ
　Ｈ０１Ｍ　10/40　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月13日(2004.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
【発明の実施の形態】
　ついで、本発明の実施の形態を以下に説明する。
１．正極の作製
（１）マンガン酸リチウムとコバルト酸リチウムとを用いた正極
　$LiMn_2O_4$で表されるマンガン酸リチウムと、$LiCoO_2$で表されるコバルト酸リチウムとを所定の質量比となるように混合し、これらに適量の炭素導電剤とグラファイトとを添加・混合した混合粉末を混合装置（例えば、ホソカワミクロン製メカノフュージョン装置（ＡＭ－１５Ｆ））内に充填した。これを、毎分１５００回の回転数（１５００ｒｐｍ）で１０分間作動させて、圧縮・衝撃・剪断作用を起こさせて混合して混合正極活物質とした。この混合により、マンガン酸リチウムに対してコバルト酸リチウムが電気的に接触した状態となる。ついで、この混合正極活物質にフッ素樹脂系結着剤を一定の割合で混合して正極合剤とした。ついで、この正極合剤をアルミ箔からなる正極集電体の両面に塗着し、乾燥した後、所定の厚みに圧延して正極板とした。